

◆内容： 長崎セミナーの報告会

定例会のようす

A分科会

- ・小学校の性教育の取組がとてもよかった。資料を持ち帰りたかったという意見が多かった。
- ・保健所の宗先生の資料はデータをきちんと示して話されたのでとてもわかりやすかった。
- ・国民健康保険の支払いをせずに、病院受診時の医療費を支払うという例がある。また、出産後に

母子手帳を配布ということが何例もある。

・安日先生の指導助言から「男の子の性をどう育てていくのかということだが、自分の性を否定していると異性に対して攻撃的になるといわれている。だから男の子の性をきちんと育てていくということは、デートDVとかDVの長期的な予防にもなる」

B分科会

- ・教育とは「待つこと」、「育てること」、「そこなわないこと」である。
- ・「困っている」と言っているのは大人なんだ。何が困っているのか？ 困っている事には「手伝うよ」といってあげる。
- ・大人が伝えたい事が子どもに伝わっているかは、子どもを見ればわかるものである。
- ・マスターベーションは、「自分一人ですること」、「人がいるところではしないこと」、「人に手伝わせてはいけないこと」ということを教えることも大切だが、そのことがわからない子たちには、その子の尊厳が守れるような配慮が必要である。「さっぱり部屋」を用意しておくこともある。
- ・セラピーぬりえ・・・本の中にあるものを塗る(嫌な気持ち・・・色を塗ってごらんといっけてあげる)

本の紹介です

- ・13歳までに伝えたい心とからだのこと・・・かんき出版
- ・いのちってすごい赤ちゃんの誕生
- ・イラスト版10歳からの性教育
- ・おちんちん紙芝居2シリーズ
- ・いきいき性教育・・・東山書房

会報と一緒にA・B分科会と講演の報告を発送していますのでご一読ください。